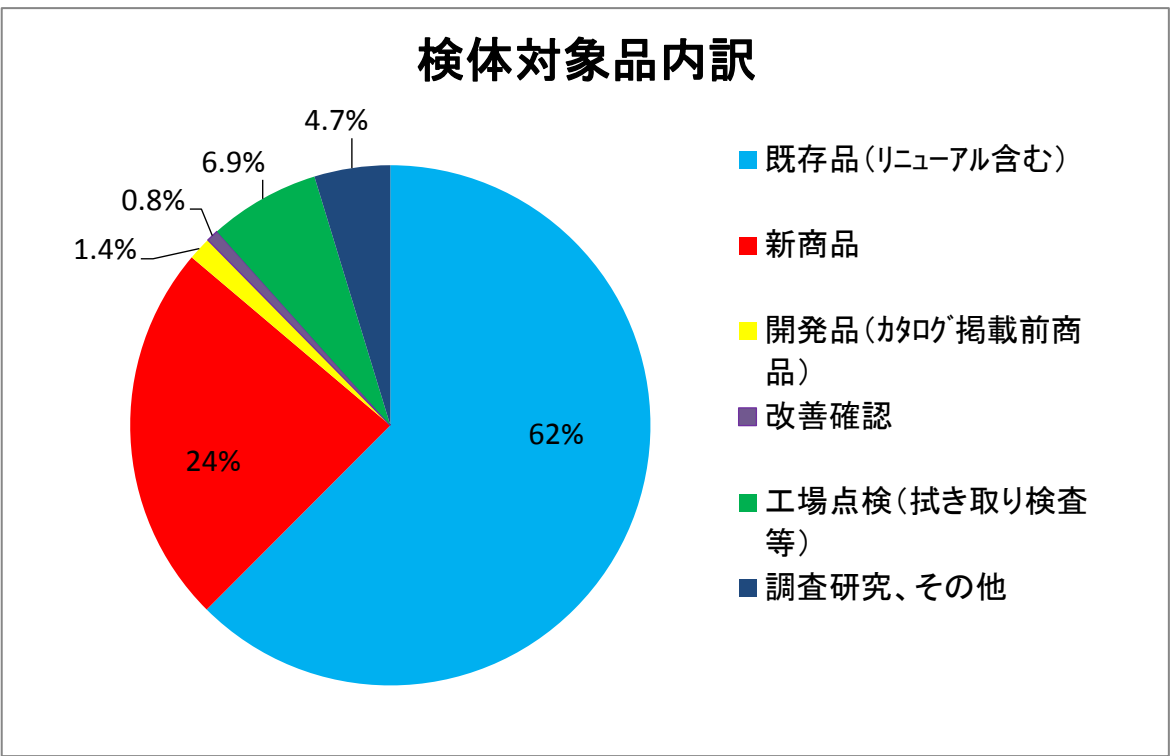


2016年度検査結果(11月更新・累計)

微生物検査

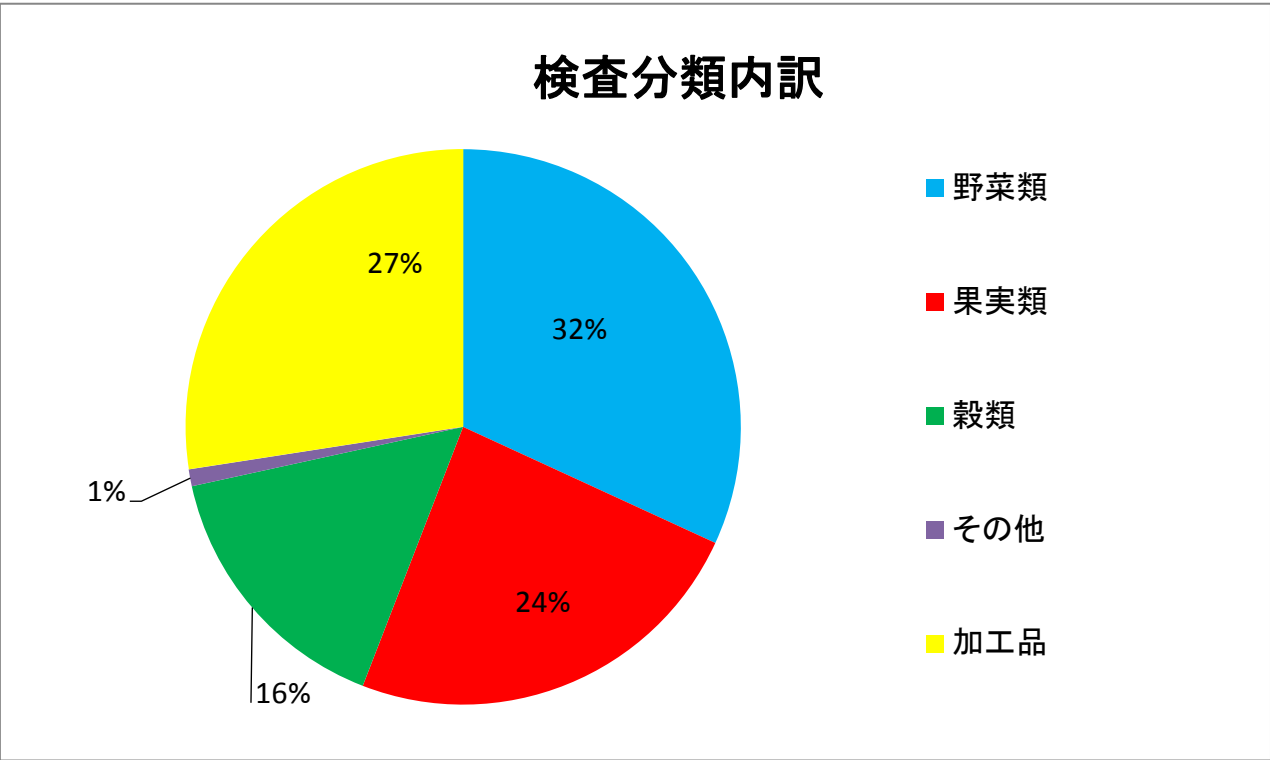
| 検査対象品          | 検体数   |
|----------------|-------|
| 既存品（リニューアル含む）  | 2,942 |
| 新商品            | 1,116 |
| 開発品（カタログ掲載前商品） | 68    |
| 改善確認           | 36    |
| 工場点検（拭き取り検査等）  | 325   |
| 調査研究、その他       | 222   |
| 合計             | 4,709 |



【微生物検査項目】  
一般生菌、大腸菌群、真菌(カビ、酵母)、大腸菌等の衛生指標菌及び、黄色ブドウ球菌、腸炎ビブリオ、サルモネラ、セレウス、カンピロバクター、O157等の食中毒菌を検査し、食品及び食品製造現場における衛生状態管理と、食品の腐敗・変敗、食中毒防止に役立てます。

残留薬剤検査

| 検査実績\検査分類 | 産直品    |        |        |     | 加工品    | 合計     |
|-----------|--------|--------|--------|-----|--------|--------|
|           | 野菜類    | 果実類    | 穀類     | その他 |        |        |
| 検体数       | 65     | 49     | 32     | 2   | 56     | 204    |
| 検査した成分    | 25,508 | 19,256 | 12,609 | 785 | 21,969 | 80,127 |



【残留薬剤検査項目】  
商品検査センターでは、人や環境に対する毒性の強い農薬等の403成分一斉検査(2016年度現在)を行っています。  
産地での使用状況、残留事例、農薬の流通量等、その他さまざまな情報を参考に検査する薬剤を決めています。

その他確認検査

| 検査実績\検査分類 | 鶏卵  | ヒスタミン | 食品添加物 | 動物薬 | 一般成分 | 米品種確認 | GMO（遺伝子組） | 特定原材料（アレル） | 合計   |
|-----------|-----|-------|-------|-----|------|-------|-----------|------------|------|
| 検体数       | 232 | 33    | 4     | 21  | 4    | 12    | 3         | 0          | 309  |
| 検査項目数     | 928 | 33    | 12    | 837 | 8    | 12    | 3         | 0          | 1833 |

※鶏卵検査、ヒスタミン検査は商品検査センターにて検査を実施。その他の検査は外部委託機関にて検査を実施。

○鶏卵検査  
卵重、卵殻強度、卵黄色、鮮度の指標となるハウユニット(卵白高)を測定することで品質管理を行っています。  
1ヶ月に1度の頻度で全産地・全種類のたまごを対象に行っています。

○ヒスタミン検査  
生魚(鮮魚、冷凍魚肉)や、その加工品のヒスタミン濃度を測定して品質管理を行っています。  
夏場を中心にサバ、メカジキ、マグロ等について実施しています。

○食品添加物検査  
保存料、発色剤について使用がないかを確認します。  
ハム・ソーセージ類について実施しています。

○動物薬検査  
動物用医薬品や飼料添加物について残留がないかを確認します。  
たまご・肉類について実施しています。

○一般成分検査  
油脂の劣化を評価するために指標となる「酸価」「過酸化価値」を測定します。  
油脂で処理した食品や油脂分を多く含む食品(主に菓子類)について実施しています。

○米品種確認検査(米DNA検査)  
米について、他品種の混入の有無があるかの定性検査を行い、表示の適正確認を実施しています。

○GMO検査(遺伝子組み換え体含有検査)  
遺伝子組換え作物の混入の有無を検査します。  
主に大豆、菜種を原料とする加工品について実施しています。

○特定原材料検査(アレルギー物質を含む食品の検査)  
加工品について、食物アレルギーを引き起こす食品のうち、症例が多いまたは症状が重篤な卵・乳・小麦・そば・落花生・甲殻類(えび・かに)が含まれているかを検査し、原材料表示及びコンタミ表示の適正確認をしています。